

Q&A

下痢と体重減少を主訴に来院した高齢男性

【問題】

症例：65歳，男性。

主訴：下痢，体重減少。

既往歴：特記事項なし。

家族歴：特記事項なし。

生活歴：喫煙なし。飲酒なし。

現病歴：当院来院約2カ月前より下痢（2～3行/日）が出現した。他院にて整腸剤，止痢剤を処方されたが下痢は改善しなかった。1カ月前より頭髪の脱毛，爪の萎縮，食欲不振，味覚障害も出現した。2カ月で6kgの体重減少を認め，精査加療目的で当科に紹介受診となった。整腸剤，止痢剤以外に抗菌薬や他の薬剤の投与はない。海外渡航歴なし。

現症：身長158cm，体重45kg，体温36.3℃，血圧124/74mmHg，脈拍68/分，眼瞼に貧血と黄疸は認めず。胸部：異常所見なし。腹部：平坦，軟で圧痛なし。頭髪と眉毛の脱毛，手爪甲の萎縮，

四肢先端（手掌，足底，手指）と体幹に色素沈着を認めた。

血液検査所見：WBC 5620/ μ l，Hb 12.8g/dl，Plt 23.8万/ μ l，TP 5.7g/dl，Alb 2.8g/dl，T-Bil 0.6mg/dl，AST 12IU/l，ALT 11IU/l，LDH 136IU/l，Alp 115IU/l，BUN 11mg/dl，Cre 0.62mg/dl，T-Cho 143mg/dl，Na 138mEq/l，K 3.3mEq/l，Cl 103mEq/l，Ca 7.9mEq/l，CRP 0.72mg/dl，Glu 83mg/dl。

便検査：病原性細菌の検出なし。C. difficile：トキシシン陰性，抗原陰性。

Figure 1に両手背と爪（Figure 1A），頭髪と眉毛（Figure 1B）の写真を示す。上部および下部消化管内視鏡検査で胃，十二指腸，全大腸に類似した所見を認めた。Figure 2に胃幽門前庭部（Figure 2A），下行結腸（Figure 2B）の内視鏡像を示す。

考えられる疾患は？

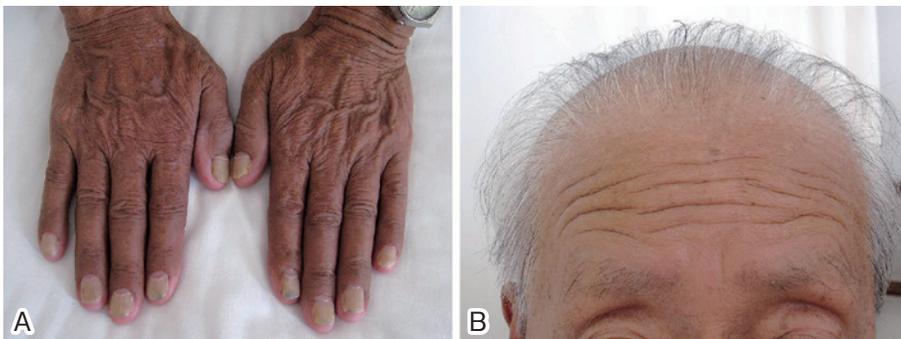


Figure 1. A. 手指（爪）と手背. B. 頭髪.

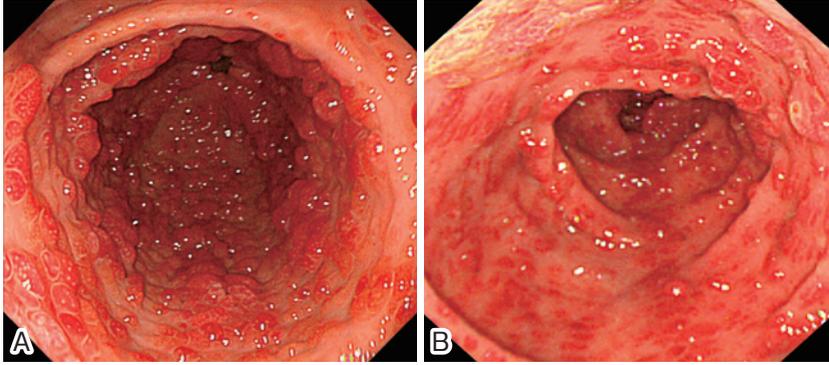


Figure 2. A. 幽門前庭部内視鏡像. B. 下行結腸内視鏡像.